

岩手大学

三陸復興推進機構

三陸復興サポート学生委員会

被災“地”から被災“者”へ 6年目の復興と地域課題を考える学生フォーラム 実施要項

■開催趣旨

震災から 5 年目。被災地の課題・ニーズは多様化しました。折しも、女性活躍推進法の成立、ワーク・ライフバランス・イクボスの広がり等、多様な視点を受け入れる風土づくりが注目を浴びる中、今後は、街づくりや復興政策、支援活動の展開にも、年代・社会的立場問わず様々な視点が求められるようになります。

そこで、この節目を迎えるにあたり、「被災地で活動する学生ボランティア団体がこれまでの活動を総括し、共にこれからの支援・地域の姿を学び、今後の連携や活動に活かす」「若者の視点から、被災地の抱える課題を一般に広く発信する」という趣旨より、同フォーラムの開催を決定しました。

■開催日時・おおまかな内容等

第 1 日目：2/20(土) 岩手県公会堂 13：00～17：00 入場無料・300 名

- ・基調講演「多様性に配慮を持った視点から考えるこれからの復興」
講師：田村太郎氏(復興庁参与/(一財)ダイバーシティ研究所代表理事)
- ・学生活動リレー紹介と各団体が感じた「地域課題」発表
- ・当日は団体同士の交流会も開催(岩手県国立青少年の家)

第 2 日：2/21(日) 岩手大学復興祈念銀河ホール 10：00～12：30 入場無料・150 名

- ・学生団体パネルトーク 6 年目を迎える被災地の課題と学生が出来ること
- ・前日各団体が挙げた課題も取り上げ「多様な視点で学生と地域が取り組める活動」を議論
- ・前日発表団体より各 2 名程度参加で実施
- ・司会進行 岩手大学三陸復興推進機構 後藤

■当日の流れ

●2/20(土)

- 9 : 30 仙台駅チャーターバス発 ※甲南は直接現地入り
- 10 : 00 岩手大学 会場設営
- 11 : 30 バス 岩手県公会堂着予定 会場案内と発表者事前打ち合わせ ※近隣で各自由に昼食
- 13 : 00 開会 司会進行：三陸復興推進機構 後藤
- 13 : 10 基調講演 「多様性に配慮を持った視点から考えるこれからの復興」
講師：田村太郎氏(復興庁参与/(一財)ダイバーシティ研究所代表理事)
- 14 : 30 基調講演 終了予定
- 14 : 45 学生団体発表 1：岩手大学（発表は北から南となっております）
- 15 : 10 学生団体発表 2：岩手県立大学
- 15 : 35 学生団体発表 3：東北大学
- 16 : 00 学生団体発表 4：福島大学
- 16 : 25 学生団体発表 5：甲南女子大学
- 16 : 50 閉会挨拶と明日の内容紹介
- 16 : 55 閉会
- 17 : 10 岩手大学数名 宿泊先会場設営に出発
- 17 : 20 宿泊先 送迎バス公会堂発
- 18 : 10 バス 宿泊先(岩手県国立青少年の家)着予定
- 18 : 15 施設案内等
- 18 : 30 2階ホールにて懇親会開始 参加費 1000 円
- ※アルコール類は、各自購入（売店がございます）※施設特性上の配慮です
- 19 : 30 1次会 終了 記念撮影後 自由解散
- 19 : 45 帰宅希望者 送迎バス発 盛岡駅まで(20 : 30 着予定)

●2/21(日)

- 7 : 00 ～ 朝食可
- 8 : 10 会場発 岩手大学行バス
- 8 : 30 岩手大学 銀河ホール入り
- 8 : 50 岩手大学工学部正門前 バス着
- 9 : 00 登壇者事前打ち合わせ
- 10 : 00 開会 進行：三陸復興推進機構後藤
- 12:30 閉会 ホール講堂前で記念撮影後 解散

■開催について補足

- ・本事業は岩手県「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の助成を受けて実施されるものです。
- ・本フォーラムは、これまで本学学生団体が開催していた他大学との交流会・勉強会等と異なり「一般公開」を一つの柱に据えます。これはより多くの方に現状を発信し、より多くの方に「自分事」として被災地の課題、被災地のこれまでの風土等を議論していただきたいという狙いからです。これから本県の復興を担う世代のため、様々な視点から課題提起を行います。
- ・本フォーラムは、「若者の視点」を一つの柱に据えます。復興施策で最も意見が集約しにくいと言われるのは、「20代～40代」の若者世代であり、この世代は子育て・仕事・介護・そして地域の復興を支える責任と、様々板挟みとなっている世代である一方、長時間労働や日々の生活に追われ、声を上げる・地域に参画することも困難であり、施策決定の場にも中々顔を出せずにおります。よって、学生を中心とした若い世代が、今被災地で見た課題を自分たちに待つ未来とリンクさせ課題提起することで、より多くの方に「自分事」として被災地の課題、これまでの風土等を議論していただき、学生たちと共に、新たな時代に合わせた視点を学んでほしいという狙いからです。

■開催主体

岩手大学三陸復興推進機構 生活支援部門 ボランティア班管轄 三陸復興サポート学生委員会

お問い合わせ先

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3丁目18-34 国立大学法人 岩手大学
三陸復興推進機構 事業コーディネーター 後藤

TEL : 019-621-6749

Mail : diug1959@iwate-u.ac.jp

■「事項防止及び公衆衛生のための措置」

- ・火災や地震等、災害等が発生した場合に備え、会場の管理者と事前に話し合い、緊急連絡体制を確立
- ・運営スタッフには、緊急時に備え、避難経路や連絡体制の確認の徹底等を行う